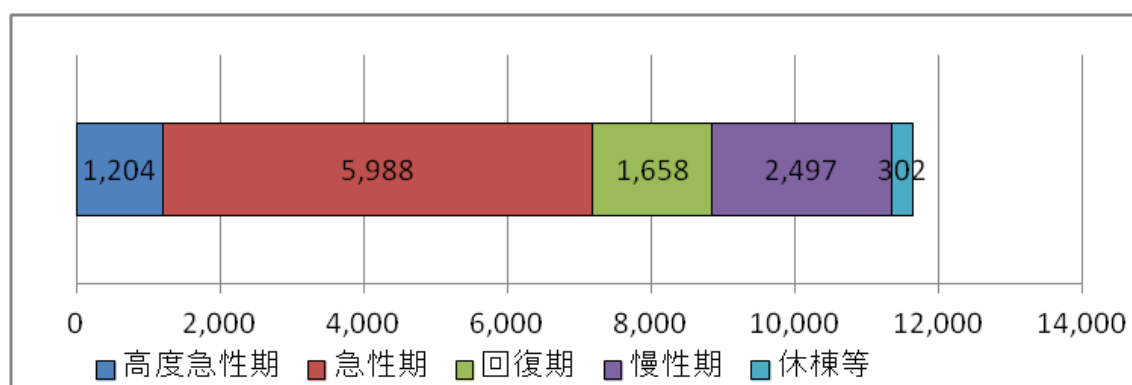


平成28年度 山形県における病床機能報告の概要(確定版)

平成29年2月17日までに報告義務のある医療機関114施設のうち113施設（病院54、診療所59）より報告があり、現時点において、各集計項目に不備がなかった医療機関108施設（病院54、有床診療所54）を集計した結果です。

■現 状

平成28年7月1日時点の機能として、各医療機関が自主的に選択した許可病床の機能の状況です。県全体の許可病床は11,649床（不備有除く）となっており、高度急性期が10.3%、急性期が51.4%、回復期が14.2%、慢性期が21.4%となっています。また、休棟等は302床となっています。



※休棟等：1床も稼働していない病棟、無回答。

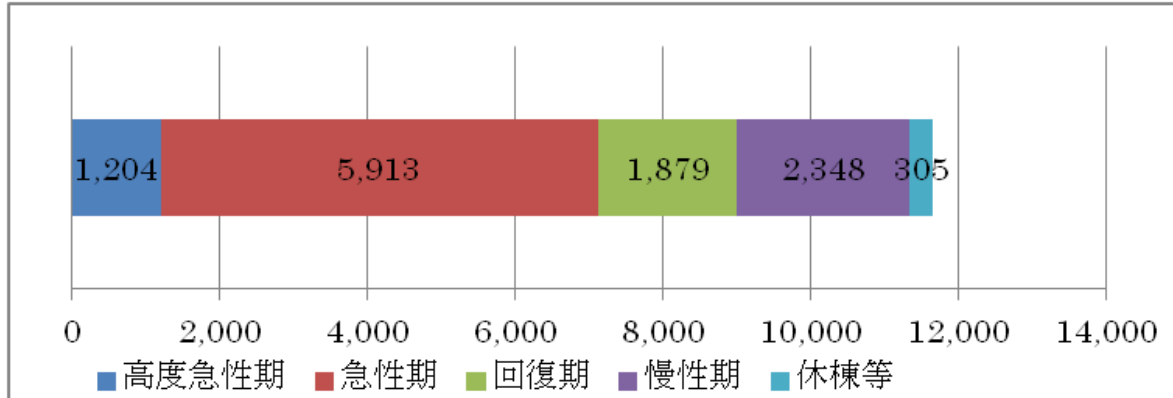
二次医療圏	全体					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	
村山圏域	737床	3,082床	700床	1,262床	146床	
最上圏域	5床	602床	84床	147床	53床	
置賜圏域	30床	1,070床	486床	511床	37床	
庄内圏域	432床	1,234床	388床	577床	66床	
県計	1,204床	5,988床	1,658床	2,497床	302床	

参考 平成27年度との比較（平成28年度-平成27年度）

二次医療圏	全体					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	
村山圏域	3床	-61床	-23床	77床	0床	
最上圏域	0床	0床	0床	0床	0床	
置賜圏域	0床	-43床	-24床	0床	22床	
庄内圏域	48床	-66床	40床	-15床	-25床	
県計	51床	-170床	-7床	62床	-3床	

■ 6年後の予定

平成28年7月1日時点から6年経過した時点の機能の予定として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。急性期で75床、慢性期で149床が減少し、回復期で221床が増加しています。



二次医療圏	全体					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	
村山圏域	737床	3,030床 3,130床	902床 842床	1,112床 1,072床	146床	
最上圏域	5床	596床	84床	147床	59床	
置賜圏域	30床	1,068床	486床	522床	28床	
庄内圏域	432床	1,219床	407床	567床	72床	
県計	1,204床	5,913床 6,013床	1,879床 1,819床	2,348床 2,308床	305床	

(注) 圏域の設定が現在と変わらないとした場合

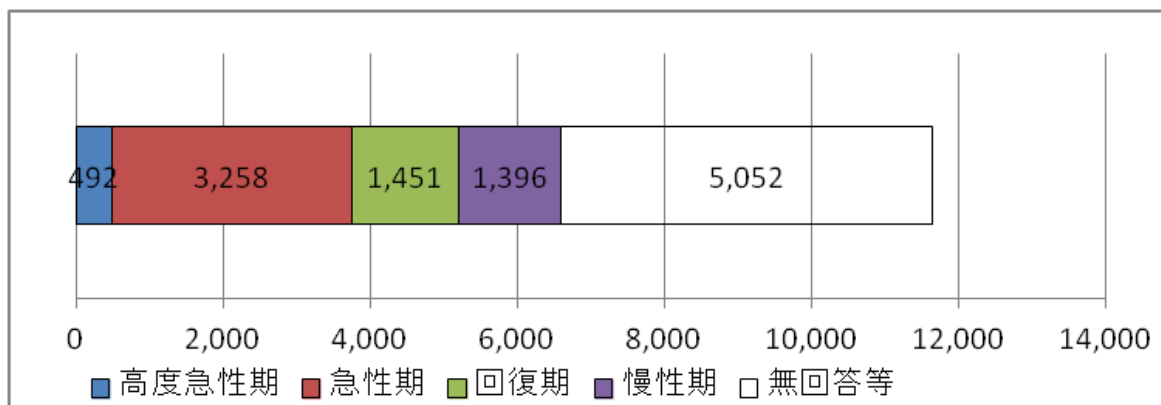
※数字が2つ記載されている欄については、報告期限後、間違いが判明したことから、上段に正しい数字を、下段に報告時の数字を記載したものです。なお、分析については正しい数字で行っております。(山形県地域医療対策課調べ)

参考 平成27年度の比較 (平成28年度－平成27年度)

二次医療圏	全体					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	
村山圏域	-4床	3床	20床 120床	-146床 -206床	35床 -5床	84床
最上圏域	0床	0床	0床	0床	0床	0床
置賜圏域	-45床	0床	7床	-76床	0床	24床
庄内圏域	-18床	48床	-18床	-106床	8床	50床
県計	-67床	51床	9床 109床	-328床 -388床	43床 3床	158床

■平成37年の予定

平成37年7月1日時点の機能の予定として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。任意報告ということもあり、現時点においては無回答が多くなっています。



二次医療圏	全体					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答等	
村山圏域	222床	2,127床	768床	592床	2,218床	
最上圏域	0床	173床	44床	127床	547床	
置賜圏域	10床	498床	396床	469床	761床	
庄内圏域	260床	460床	243床	208床	1,526床	
県計	492床	3,258床	1,451床	1,396床	5,052床	

(注) 圏域の設定が現在と変わらないとした場合

参考 平成27年度との比較 (平成28年度－平成27年度)

二次医療圏	全体					
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答等	
村山圏域	-512床	-209床	-41床	1床	757床	
最上圏域	0床	55床	-55床	0床	0床	
置賜圏域	0床	40床	-66床	-12床	-7床	
庄内圏域	-3床	-26床	33床	-4床	-18床	
県計	-515床	-140床	-129床	-15床	732床	